

外壁	RC・PC
標準施工仕様	

(モルタル・コンクリート・等)

工程	材料	調合	所要量	一缶(セット)の塗り面積	施工用具	塗回数	間隔時間(23℃)
1.素地調整	①素地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は高圧洗浄等で取り除いて下さい。②劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去して下さい。③ゴミ・油等の付着物は除去し、水分10%、pH10以下に管理して下さい。④下地の表面に微細ひび割れが生じている場合は、本仕様による施工は避け、他の工法を選択して下さい。⑤雨上がり後は、均一に乾いてから施工して下さい。⑥吹付面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生して下さい。						
2.下塗り、 下地調整	マルチ浸透シール 無希釈	15kg	0.1~0.2 (kg/m <sup>2</sup> /回)	75~150m <sup>2</sup>	刷毛 中毛ローラー、 エアレススプレー	1回	4時間以上
	コットンファイラー	15kg	0.2~0.45	33~75m <sup>2</sup>	中毛ローラー刷毛	1回	4時間以上
	清水	0.5~1.2ℓ	0.5~0.8	18~30m <sup>2</sup>	多孔質ローラー リシガン		
その他、下地に応じて適切な下塗材を選定してください。							
3.中塗り	セラベース 清水	16kg 0~1.6ℓ	0.1~0.15 (kg/m <sup>2</sup> )	106~160m <sup>2</sup>	刷毛 ローラー エアレス	1回	5時間以上
4.上塗り	タテイルフロ 主剤	15kg	0.1~0.15 (kg/m <sup>2</sup> )	106~160m <sup>2</sup>	刷毛 ローラー	1回	—
	硬化剤 清水	1kg 0~0.8ℓ					

●マルチ浸透シール

(1液水性浸透形カチオンプライマー)

- 荷姿 15kg缶
- 施工用具 刷毛、ローラー、エアレス

- 適用基材  
コンクリート・モルタル・GRC板・ケイカル板・一般外壁  
サイディングボード・吹付タイル・スタッコ・リシン・等

●セラベース

(水性1液形水性無機塗料用中塗りコート)

- 荷姿 16kg/缶

●コットンファイラー

(水性1液形特殊軽量弾性断熱ファイラー)

- 荷姿 15kg/缶
- 適用基材  
コンクリート・モルタル・PC板・GRC板・ケイカル板・  
一般外壁・サイディングボード・吹付タイル・スタッコ・リシン・等  
(注:旧塗膜が健全な状態のものにのみ塗装可)

●タテイルフロ

(水性2液フッ素ハイブリッド形無機塗料)

- 荷姿 主剤:15kg  
硬化剤:1kg
- 可使時間 5時間以内(23℃)



注  
意  
事  
項

- ・マルチ浸透シールはカチオン系塗料ですので、希釈できないうえ、他種塗料との混合も出来ません。
- ・マルチ浸透シールを塗布後は十分に乾燥させてから、次の工程に入ってください。
- ・コットンファイラーは、既存塗膜の劣化が著しい場合・打ち直しコンクリート・PC・モルタル等の新築の場合は、高圧洗浄後にマルチ浸透シール、又はシリコン浸透シーラーEXを塗布してから使用して下さい。
- ・タテイルフロは、2液反応硬化形ですので、主剤と硬化剤の調合を守り混合し、十分に攪拌して下さい。またタテイルフロは水性塗料のため、攪拌初期は硬化剤が水となじみにくいので手動で軽く攪拌しただけでは混合不良となる場合があります。
- ・タテイルフロは、調合後15~20分程度熟成させてから使用して下さい。色によっては色ムラが出る場合があります。
- ・タテイルフロは超低汚染タイプの塗料ですが、建物の部位(斜壁・笠木のないパラペット・日の当たらないベランダの内壁等)によっては、十分な低汚染性を発揮出来ない場合があります。
- ・セメント質下地は、表面の含水率が10%以下(pH10以下)になるまで放置して下さい。下地モルタルは十分に乾燥させて下さい。モルタルの乾燥時間は夏期で1週間、冬期で2週間必要です。コンクリート下地は夏期で2週間、冬期で3週間以上乾燥が必要です。
- ・シーリング材の上に施工することは避けて下さい。汚染・ひび割れ・剥離などの不具合が発生する恐れがあります。必要上塗布する場合は、シーリング材との塗り重ね適合性を十分確認の上、施工して下さい。
- ・素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去して下さい。
- ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させて下さい。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないで下さい。
- ・塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にしっかり養生して下さい。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取って下さい。
- ・希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌して下さい。調合割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- ・エアレスでの施工は飛散により周囲を汚す原因となる事が有ります。飛散防止対策は確実に行って下さい。
- ・常に結露が発生する地域・時期・場所での塗装は避けて下さい。
- ・施工環境が気温5℃以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けて下さい。仕上がり不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- ・夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保して下さい。
- ・工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装して下さい。
- ・塗料は冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理して下さい。
- ・塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分して下さい。(排水路・河川・下水・土壌等を汚染する場所へ廃棄しないで下さい。)
- ・材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用して下さい。
- ・塗装後は、水洗い及びうがいを充分に行ってください。
- ・塗装中・塗装後は充分換気を行ってください。
- ・目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
- ・臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- ・商品を取り扱う際には、各商品の容器に記載されている注意事項をよく守って下さい。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。